夕刊 磐城新聞
六月八日發行
（日曜祭日翌日休刊）

創作 雲後晴

柴田狂夢

五

此の原田と云ふ紳士は有名な二幸製薬會社の支配人だつた

「では明日午前八時迄にお出で下さる樣寺尾君にお傳へ願ひます、では失禮致しました」

聽て原田氏は君子に以上の吉報を齎して立去つた

君子は自分の努力で寺尾が就職出來るのだと思ふと居ても起つても居られない嬉しさに職業意識をスッカリ失つて仕舞つた位です

×

掛してホールの大きな柱時計が十二時を打つた、君子はどんなに鶴の樣に首を長くして此の時間になるのを待つたらうか

彼女は素早く身支度を濟ませ同僚より一足先にホールを出た

月の美しい夜で見上ぐる空には物狂ほしい幾多の星が燦として輝いて居た

ペーブメントの上には青白い月の光が淋しく漂つてゐました

君子を乘せたシボレーはエャーホンを鳴らしつゝフールスピードで深夜の街を疾驅して行つた

×

其れから二十分後

寺尾は君子からすべての事情を聽いてどんなに喜んだか？

讀者の皆樣御想像下さい手の舞ひ足の踏む所を知らずとはこうした場合に使ふ適切な言葉でせう

正しく寺尾は狂氣亂舞手の舞ひ足の踏む所を知らなかつた

「君ちやんありがとう、僕忘れない君の美しい好意をね——」

寺尾の目頭には何時しかキラ〳〵光る物が見えて居た、寺尾から感謝の言葉を贈られた、君子も亦等しく泣いて居た

其うしてお互の手は無意識の中にシッカリと握られて居たのです

×

初出勤を無事終へた寺尾は、其の夜自分の部屋で共に喜んで呉れたアパートの若い連中を招待してさゝやかな祝賀會を催したのです

勿論君子は其の爲にホールを休みました

彼の部屋からは電氣蓄音機が掛けられ、輕快なジャズのメロデーがドアーの外に迄流れて來ます

彼寺尾の現在の氣持は清爽と云ふ其の一語に盡きます

あらゆる惱もユーウツも消え失せた

彼の心は眞實に迷雲一つない日本晴だつた

今迄の長い間接吻一回交した事のない淸らかな二人近き將來に彼等二人の目の前に展開される幸福は果して何か？

層一層熱愛の階段を力强く歩んで行く二人は寧ろ溫かな太陽と甘い感觸にスク〳〵伸びて行くあの若草の樣に常に潑剌です（完）

磐城歌壇

新妻久滿夫選

「雜詠」　新美

○大いなる二旒の鯉の靑空に、描きし線の美しきかな

◎白雲を尾鰭にかけてたくましき、鯉吹き流し見ればたのしも

○牧場なる柵にもたれて、ゆう〳〵と寢ねし牝牛に詩を思ふかな

○乳しぼる人と牝牛の和やかさ、今日も來て見し五月靑空

○セルの持つ女の味を我もまた、よしと思ひぬ宵の巷に

○高鳴きしうぐひすのこゑ浸み透る、裏山林朝の靜けさ

小評 概して格調にはさしたる難も無いが、取材は甚だ凡だと思ふ。そして歌の中心といふものをもつと重要視してもらひたい。一、三、四、五首再吟味を望む。第二首の樣に思ひ切つて力强くそして太い線で詠んだらよいだらうと思ふ

新刊紹介

△ローマ字六月號（一部二十錢、東京市麹町區丸ノ内三ノ一二ローマ字ひろめ會）

ペシミストの詠へる

鴻以智

()
憂鬱の尺度
そぼ降る雨
散り落つる花びら
戀の溜息が聞こえる

()
現實逃避の足掻き
間斷なき逼走
絕望から來る焦燥

()
倦怠　弛緩
眞實に生きる惱み
煙は偉大な哲學者だ

芝蘭集 三

勅題　磐州　直元

大正九年十一月一日 明治神宮御鎭座祭につき上る

○神殿の千木堅魚木は皇神の、御稜威の光なる哉

明治神宮參拜して

○搔き立てし代々木の原の宮柱、常世動かぬしるしなりけり

吉野神宮に詣でゝ

○みよし野の吉野の宮の宮柱、あはれ昔の人に見せはや

神祇

○玉幸ふ神の御稜威の廣ければ、皆なすなりの上に現る

敬神

○誠心を凝らして祈れ八雲たつ、出雲の神の奇しき神魂を

○誠心を盡して祈れ益々に、御神德の大き社は

出雲大社

○八雲たつ出雲の神の御玉串、捧けて濟ひ天の益人

○物皆は爲すかまに〳〵なりくて、杵築固めし大社かな

冬　神祇

○取り鳴らす鈴の音さわて聞ゆなり、神のみたまのふゆの祭は

注連

○君が代を引く注連繩の末長く、祈る心は神ぞ知るらむ

神樂

○糸竹のいと冴え渡る夕影は、今も神代の心地こそすれ

天長節

○大八島靡く旗手に君が代の、豊榮昇る朝日さすなり

紀元節

○豊なる御代のしるしの天つ日の、御旗と共に靡く人草

憲法發布

○大船のゆたに靜に治まれる、御代のみのりを今日仰ぐかな

三度嚴島に詣でゝ

○姫神の御稜威や安藝の嚴島、いつ來て見ても飽きやらぬ哉

○永らへは立てし勳の石碑を、今日の生日に見るぞうれしき

社會の今日

6月9日

△汽車發明者スチブンソン生る（一、七八一）△南朝を吉野朝と改稱す（明治四四）△米國日露講和を勸告す（同三八）△伊藤博邦公薨去（昭和六）△三井家から三百萬圓を失業者救濟に投げ出す△佛國女流飛行家ルンシユタイン孃死す（同七）△徳川貴族院議長辭任し後任に近衞文麿公就任（同八）

○

風疾く五月の空をとほるなり、せわしくめぐる矢車の音　平關　百穗

鹿の子の人疑はぬ眼のいとし　規魚子

講談 浪人長屋

(108)　日岐武志作　月草道子畫

もん六の話

「へゑ、そいつはお目出度いことですね、お新姐さん成程。おらあ、紋六ッていひますよろしくねげえます」

「紋、お新姐さんに近づきの盃を……」

「おや、さうですね、えゝお新姐さんどうか一つ」

「おや、では、せつかく…！」

「いゝえ、せつかくでなくとも、よござんす」

「ホ、ホ、ホ……おもしろい人ね」

雪は、小止みなく降りしきつてゐる

向ひ屋根には、もう二三寸位は、積もつたやうである

「ね、お新姐さん、都築鐵彌さんに振られた腹癒せに半分は意地づくで、この先生と出來ちやッたんでせう、え、さうでせうね」

「あれ紋六さんは、いろんなことをご存じね、あきれつちやいますよ、あたしゃんなおやないけど、ゆうべ先生が……」

「お新、いふないふな、ボロが出るぞ、ハハハ……」

と、玄内は、お新をさへぎるやうに笑つて

「なあ、紋、お新姐さんはまだ鐵彌に未練があるんだ何故かつていふと、わしと一平の二人で、碓氷峠で鐵彌をやッつけてしまつたと話したら、すッかりしよげかへつてしまつたんだ」

「あら、あたし」

「成程ぬ、論より證據ッてわけですね、あんな靑二才は思ひ切りなさいよ。この先生は惡黨にやちがいないが、情は深いんですとさ……！」

「紋、醉がまはつて來たな！」

「いゝえ、そんなでも」

と、紋六、急に眞顔になつて

「ところが、大變なんですよ先生、お新姐さん。その鐵彌ゞ生きてゐるんですよ！」

「なにッ、生きてるとな」

「一平さん自慢の短銃も、あんまりあてにはなりませんさ」

「ど、どこに生きてゐるんだ。ほんとうか」

紋六は、もつたい振つてうなづいてみせ、ゆつくりと、盃を干した

「先生と一平さんが、どうでも草津へ行くつてんで別れたのは高崎でしたね」

「うむ」

「おらアあれから江戸が戀しくなつたんで、江戸へ歸つてみたが面白くない。そこで先生のところがやつぱりいゝとおもつて、草津をさしてやつてくる途中、安中の茶屋でかご屋にきいた話が、どうやら鐵彌らしいんですよ」

「どんな話だ」

「そのかご屋も又聞きなんだからたしかな筋は分りませんでしたがねおらアてッきり都築鐵彌にちがひないとかうにらんできましたが、何故ッて、落ち込んだ谷底のあたりといひ、侍の人相や年頃といひ、寸分鐵彌に的中してゐましたからさ」

「うむ、どういふ樣子だつた」

玄内とお新は、紋六の顏をぢつと見守つた

紋六は、冷めた盃を干して

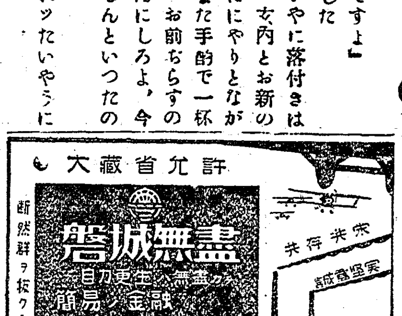
「かうなんですよ」

と語り出した

紋六は、いやに落付きはらつてみせ、玄内とお新の顏を、等分ににやりとながめてから、また手酌で一杯

「おい、紋、お前ぢらすのもいゝかげんにしろよ、今のかご屋がなんといつたのだ」

玄内はぢれッたいやうに急きたてた



五月節句品陳列

武者人形
オボコ人形
御座敷幟
布鯉
外

各種豊富に陳列致しました
御立寄を御待ち申して居ります。

平町四丁目　スガノヤ提灯店　電話九五番

二丁目フクダヤの

◎◎◎◎◎◎◎

五月人形鯉のぼり 大賣出し

かしこくも皇太子殿下と節句を同じうする光榮此の上なき御子樣を祝福しておなじみのフクダヤは奉仕的大勉强いたします。

武者人形　八十錢より
鯉のぼり　壹圓五十錢より
具足飾　貳圓五十錢より
御座敷飾セット　六圓より百五十圓迄

五月武者人形大賣出し

例年通り特選の武者人形を始め古代人形各種、御座敷幟、布鯉、其他御道具類一式

豊富に取揃へ陳列特賣致します。
是非御來店の程御待ち致します。

平町本町通り三町目
落花生問屋　叶・加藤商店

五月人形賣出し

尚武日本を表象して若葉の空を泳ぐ鯉幟、武者人形も勇ましく陳列いたしました、是非御覧下さいます樣御願いたします

其他特製、御座敷幟、御陳道具、御太刀類
豊富に取揃特價に御願致します

平町三丁目　金太郎玩具店

外科全般

特ニ内臓外科及ビ内、外、兩域疾患　醫學博士　渡部義夫
小兒科、内科　女醫　渡部きい

入院應需

渡部外科

平町役場前、電話(二七七)
診療午前八時ヨリ午後九時迄

女子店員募集

年齡十七才ヨリ廿三才マデ
高等小學卒業程度
御希望の方は履歷書御持參御來談下さい
委細面談

日東商會　平町二丁目　電話四二八番

うちみ
ほねつぎ
くぢき
專門

正効齋　醫學士　大河内一郎
平町搔槌小路四

駿馬の斷き血は躍る

福島競馬へ!!!

十六日(土)　十八日(月)　二十三日(土)
十七日(日)　廿二日(金)　二十四日(日)

晴雨不拘　毎日午前六時出發—午後九時歸着

會費金五圓也

△募集人員毎日五名限り▽
…晝食と特等入場劵進呈…

平驛構内と一般貸切　電話三二一番

不二タクシー

平ゆべし　一折金十錢
高粱餅（タカラモチ）　一折金十錢
（日滿提携新菓）
賣始めました。

田町　日進堂　電一八六

東京株式取引所　短期 實物 取引

治 角治商店　電話 茅場(66)

電話代表 [illegible]
東京市日本橋區兜町一ノ四　電略(カヌハ)カクヂ

公社債、株式現物 賣買

治 角治株式店

平町本町三丁目　七十七銀行前通り大谷時計店裏
電話七三番
株式日報營業案内御報進呈
主任 山田芳藏

地上五間半を見上ぐる 新装の超モダン高麗橋

延長廿三間の中央に欄干燈

堀江工業の手で愈々近く起工

早くより架換の必要を叫ばれてゐた平町八幡丘と磐城跡を繋ぐ高麗橋は總々總工費一萬一千四百圓(縣補助五千六百七十八圓)を以て起工する事に縣より正式指令あつたので昨七日午後一時より土木委員會を招集種々協議した結果堀江工業會社が請負ひ今月中旬頃より着工、八月末まで完成する事となつた

延長四二米、幅員五米五〇、高さ十米

現在より約十尺高い南寄りに架換わる筈で平地方最初の欄干點燈など超モダン橋が現出されるわけである尚十米の鐵脚は直に釜石製鐵所に註文する

土屋 山部 兩巨人を迎へ 磐中庭球部猛練習

他日の飛躍に備ふる意氣

磐中庭球部では仙鐵の大將新田目の各選手が明九日よ組、關東北の霸者である十り兩三日間に亘つてコーチ屋、山部兩選手を招き大將を受け他日の飛躍に備ふる組大谷―松原、副將小野―と

平青訓大勸誘開始

十一日から四日間を活躍

平青年訓練所生徒は現在夜間二十四名、晝間四十九名計七十三名で歴々の入所勸誘にも効果少くその生徒すら出席率が芳しからぬ狀態なので來る十一日から四日間(午後一時から)町內各區長と協力して極力勸誘に努めると

十一日―甲班長橋町、材木町、研町、古鍛冶町方面乙班南白銀町、大工町、四丁目、五丁目

十二日―甲班紺屋町、一丁目、二丁目、三丁目、乙班、立町、禰宜町、鎌田町、五色町、下川原町

十三日―甲班田町、才槌小路、胡摩澤、北目町、久保町、八幡小路、乙班新川町、正月町、堤の內、月見町、三倉町

十四日―甲班南町、鍛治町十五丁目、大町、中町、乙班仲間町、九品寺前、番匠町、鷹匠町、柳町、梅香町、四軒町、舊城跡

島田大尉快癒

十五日退院の豫定

去月廿四日江名町海岸に墜落負傷以來平町上田病院で加療中の島田大尉は其後經過頗る良好で數日中には旅行に差支無い迄に恢復したので本隊と打合せの上來る十五日頃退院の見込みであると

平署古河 劍道試合

平署對古河の第二回劍道大會は來る十七日の處都合により廿四日に延期されたが兩軍のメンバー左の如く古河軍は第一回に惜敗した關係から目下猛練習を續けて居ると

(平署)高松、渡邊(溫)、佐藤、室井、芳賀、大谷、桑原、高子、長谷川、長山、込堂、鈴木、渡邊(定)

(古河)加藤、須藤、矢內、志賀、大谷、草野、鈴木、小林、禰島、田村

今は還らぬ昔戀しや 月八百本の黄金時代

官能に顫へる桃色も褪せた新田町

景氣直しに溫習會の催し

平町現在の藝妓數は大八十、小十一、合計九十人程で之れが二十軒の御神燈に配屬され夜毎イットを發散して居るのであるが一ケ月間の水揚高は最高四百本、普通二百本乃至二百五十本、下つて賣れの遠い處になると僅に百本內外と云ふ慘憺たる有樣で、之の邊になると結髪料、風呂錢、お白粉代食費、被服の減價銷却、前借の金利等、所謂所得に必要なる經費を控除すると儲け處か遙かに赤字が現れてさては平常勞資協調の建て前から至つて物わかりの良い女將すら遂眉の間に深い八の字を刻んで自棄、雁首を叩きつけると云ふ世にも險惡な空氣さへ捲き起す理くつ、全く七、八百本位を賣つて餘裕綽々たるのが五六人もあつた好況時代の顧ると轉た隔世の感無きを得ない狀態である、然り一昨年の今頃迄その事實があつた某賣れつ妓の如き賣上げ實に八百本、即ち

800×67=536,00

勿論終始一貫之の調子では行かぬが假に其の率で概算すると年收六千四百三十二圓也

知事や樺太廳、南洋廳長官の一級俸が六千圓 軍人では少將級で五千六百圓、減俸の今日では及ばざる事夥しである、差當り六千五百圓の內閣書記官長、法制局長官、次官警視總監と匹敵した

と云ふ凄い時代のあつた事も今は還らぬ昔語り、隨て東京から衣裳道具を借り受けて尙は必要欠くべからざる經費概算大枚千五六百兩、配役によつては一人で二百圓以上も負擔せねばならぬと云ふ今度の大溫習會當面せる踏徭たるもの、まさに盆正月二度の決算期以外更に臨時の受難が降つて湧いたものとして道ゆ桃色の官能に顫へる新田町も今息ひなしか或種のセンチが漂つてゐるかに見えるがそれは來るべき二日間の大入滿員によつて手も無く解消する事であらう

現代の粹を集めた シボレー自動車展覽會

十三日大町廣場で開催

自動車智識普及會主催シボレー自動車展覽會は十三日午前九時より平町大町若松病院前廣場に開催される、會場には大天幕の陳列場が張り晝夜何人も來觀出來るやうに設備される、二十種に近い各種自動車は現在における各代表的優秀新型のもので一目確かに自動車に關する知識を廣め更に日沒からはトーキーの映寫をなし等交通思想上益するもの極めて多い

同展覽會には家族遊覽車と稱する電氣冷藏庫を有つた厨房、サロン、寢臺、ソファー等近代住宅の諸要素を設備した珍らしい特殊自動車を始め撒水車、道路掃除車、消防車、ダンプボデー各種バスボデー、タンク車等あらゆる用途に適應せる車輛を網羅するはず

遺失物激增

氣の弛みを物語る

平署受付の去月中遺失物は八十三件で前月に比し三十一件、一、二月頃に比較すると約二倍位に當り夏季に於ける氣の緩み振りを物語つて居る

驛前寄附地 測量開始

大平町玄關口の美化を理由に町有地二十

衝突遭難者 輕過良好

三名は近く退院

昨報―愛谷地內踏切り衝突事件で瀕死の重傷を負ひ目下共濟病院で加療中の赤井村大字赤井平野なか(五〇)さんは七日午後の輸血で危險區域を脱し又上田病院で治療中の赤井村字日渡伊藤秀夫(四〇)同長男武雄(八)同村大根內鎌倉とし子(一〇)の三名も歩行出來る程度で近日中退院すると

全國協議會に出て 職業指導法研究

篠原湯本校長と岡部訓導

湯本校は昨年十月郡下最初の職業指導校として縣から指定され奬勵金を受けて着々實績を擧げて居るが篠原校長及岡部訓導は來る二十一日より三日間東京市日本青年館で開催される大日本職業指導協會主催の第六回全國職業指導協議會に出席一層適切な指導法を考究する事になつたと

平町屠畜量

夏枯れ季に入つた平屠畜場に於ける去月中の屠殺頭數は成牛五(肉量九八五キロ)馬一〇(一、二二八)豚一〇八(五、四四六)合計百二十二頭、肉量七千六百五十九キロで前月に比し著しい減少を示したと

投檜 投書歡迎

勿來關顯彰に就て

◇今夜の放送によつて尋常五年以上の者なら誰でも『あの八幡太郎の歌にある』と肯く勿來の關が生きた史實を紹介さるゝ事は地方の爲眞に喜ぶべきである

◇一体この關に就ては古文書、繪卷物、歌、敎科書、雜誌、稚き繪本等、等に儀家は生き、關は躍動してゐるが未だ具体的に證明すべき確乎たる資料に乏しいため文部省が之を後世に證據立つべき史蹟指定地としての烙印もないのが殘念である

◇同じく奥州 三關の一である白河の關趾の地元西白河郡古關村では從來度々その筋へ猛運動して來た結果稍々その曙光を見出した樣である

◇即ち今回文部省から古關村に對し『如何なる史學者の說にも覆へされぬ資料をあげ權威者をして感心せしむるに充分なれば即座に指定するだらう』との公文書が入り、十中八九は確實と見らるゝに至つたそうである

◇其處で取り敢ずこれを白河中學岩越敎諭、元白河高女佐久間致諭の兩氏に依囑して既に去る三日から地元に出張調査の第一步に着手したといふのである

◇近く白河が他の二關に率先して指定を受けることは確かだ、勿來を地元に持つ石城に於てもせめてその程度の運動があつても良いと思ふ、聞く所によると關趾果して文政年間秦英、洞月等の擬定した現今關趾碑の建てる邊りか、將又何處にあるか分明せぬといふではないか、悲しい哉と叫びたくなる (懐古青年)

夏井川就勞希望 三百名に上らん

二日目で約百名

平職業紹介所では既報の如く一昨六日から夏井川改修就勞希望者の登錄を開始したが鎌田町、禰宜町、立町新川町、仲間町等から二日目の昨七日迄に受付けたもの三十八名で總數九十七名(內女約三十名)に上り來る十二日の最終日迄には三百名を超えるだらうと所員は之が應接に忙殺されてゐる、尙同工事には毎日約二千餘名を使役するので同所登錄者は連日就勞出來るらしく、來年度工事に際しては亦別方法で登錄する事になるだらうと

種付產駒檢查

石城畜產組合では左記割により八年國有種牡馬種付にかゝる產駒檢查を執行する

廿四日―上遠野、澤渡、廿五日―田人

部長試驗合格

本縣巡查部長第二次試驗は一昨六日執行したが受驗者三十四名中平署內勤五十嵐健雄、同

磐女競技小會

磐女校一、三年の籠球運動競技小會は一昨七日開き一年は

1 三組 2 一 3 四 4 二

で三組捷ち、三年は

1 四組 2 一 3 三 4 二

で四組の捷ち、尙明九日は四年生の排球同がある

長久保內務技師榮轉

湯本町出身內務省土木局技師長久保俊夫氏は此程道路技師兼土木技師(高等官四等待遇)に任ぜられ大阪府土木部工營課長に榮轉した

永戸駐在桑原正雄兩氏他十五名が合格した

泉村農繁托兒所開設

明日は水田の驅虫奉仕

泉村農業實行組合では愈々田植期を控へ明九日午前九時より小學校青年團等合同で全村水田の害虫驅除をなすと、尙村內篤志家によつて小學校に開設される農繁期托兒所は五十名位を收容近く開始の模樣である

九品寺托兒所

第三回九品寺農繁期保育所は既報の如く來る十二日より二十六日迄開所し申込みにより男女兒四才以上六才以下(三才以下は要附添人)を收容する

神谷農試田植

來る十八日午前九時から齋藤場長指揮の下に講習生一同が行ふと

赤津兼美君歸鄕

去る卅一日滿期延期を解除された滿洲獨立步兵第十八聯隊平町一丁目赤津重義君は今八日平着午後三時十七分で歸鄕した

第二へ寄附一束

平町一丁目常盤屋時計店では此程第二校に時計一個を、磐炭倉田技師は蓄音器一臺を寄附した

掃立制限の爲 桑葉貫五錢に下落

地方春蠶弗々上簇

郡下の春蠶は今八日の飯野村方部が皮切りに該數日中に夫々上簇するので蠶業取締平支所では進、技術員が出張多收法の指導に當つて居るが平地方は來る十二目頃上簇收繭は廿日前後と觀られて居る、尙昨年の如き品不足から貫二十五錢迄暴騰した桑葉は掃立制限の關係から昨今では僅か五錢と云ふ殆と投げ賣り的に賣買されて居る

堰の支柱を挽き切り 材料の大鐵材を盜む

共犯二人へ懲役求刑

內郷村大字綴字沼尻三六古物商精米業大谷豐(三五)が大字御厩字久世原四二日雇齋藤光男(三〇)と共謀し去月十四日十五日の各夜半の二回に大字高坂字逆川地內新川の新堰から支柱用鉋金一本十五貫を三本(合計價格約百圓)窃取した事件は今八日午前十時から平區裁口判事係りで公判開廷、濟田檢事から大谷に懲役八月、齋藤に六月の求刑あつた、言渡しは來る十三日

四倉製氷會社內の牛馬力モーター價格五十餘圓を去る四日夜何者かに盜まれ其筋で嚴探中

草山貸借協議

四倉町有草山十四町步の賃貸借調停委員會は六日同町役場內に於て開催したが大野村戶田委員との間に價格の折合つかず不調に終つたと

四倉通信

神谷納稅表彰 同村納稅組合では昨七日午後一時より小學校に於て優良納稅者の表彰式を行つた

犯罪件數增加 四倉署五月中の各犯罪件數は窃盜一〇、詐欺五、橫領三、業務同一、其他一一合計二十四件で昨年同期に比して二件を增加した

原動機盜まる 四倉町志

辭令

陸軍騎兵大佐從五位勳三等 若松晴司

敘正五位

小名濱町會議員 小濱長太郎

同 禰尾伊太郎

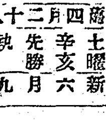
都市計劃福島地方委員會委員を命す

小名濱町助役 高木保

同委員會幹事を命す

埃の巷

つひ先頃高月台から珍らしい土石器が發見されたと云ふので俺も〳〵と土龍の大流行は我が國考古學上誠に喜ばしい事ではあるが、目下シーズンを控へて猛練習中の同校、グラウンドは之が爲めコンディションが滅茶目茶で滾す一方口の惡いの『どうせ何時になつても來年こそは、の運動部だ折角珍奇な處を掘り出して貰ひ度い』だと



舊四月二十八日 土曜 辛亥 先勝 執 女宿 新六月九日

評判定鑑所 東京市本鄕區湯島四丁目五番地 高島易斷總本部

▲一白の人 計劃中ばにとんざあらんとす始めを愼めば吉▲二黑の人 業務次第に繁榮すれど飼犬にかまる恐あり▲三碧の人 伸びし枝葉も萎るべし根本よりの培養專一▲四綠の人 棹のさし樣にて小舟も自由ならず練磨肝要▲五黃の人 影の形に添ふ如く油斷すれば邪氣に襲はる▲六白の人 念慮を愼み大望を戒め定業に精勤すれば吉▲七赤の人 禮儀と柔和を旨とし人に交り事に當れば吉▲八白の人 雄圖大に成るべき幸運の日普請轉宅開業吉▲九紫の人 諸事進まんより退守が安全他の援助を蒙る

九日

日出 四、二五 月出前 一、五七

日沒 六、五五 月沒後 四、二五

滿潮 前 二、一五 後 四、五〇

干潮 前 九、三五 後 九、五〇

先に福島縣第一車を入れ大方皆々樣の御試乘を願ひ御好評にあづかりました二ーアクション裝置の第二車が又昭和タクシーに入り、いよ〳〵皆々樣に本日よりデビユウしました。何時も皆々樣の忠實なる御供 昭和タクシーに御用命願ひます。遠乘御回遊等は特に御相談に應じます。

平驛前 昭和タクシー 電話三四三番、三四〇番

評判で香りのよい 電熱ほうじ茶發賣

一號 一斤六〇 四半斤一五

二號 一斤四〇 四半斤一〇

大勝童謠

大黑ばしらは家の王 お勝手道具は世帶王 大勝園で買つた茶は 茶の間の王よ客間王 父樣母樣おすきの茶 孫のほめる茶喜ぶ茶

平三 大勝園 電九三六番

お醬油は……ヤマフル

味噌 醬油 たひら正宗 鰹節 食料品

鹽屋 山崎合名會社 福島縣平町 電話(營業部一〇番 本店二七番)

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

開業 內科一般 川井安子

川井內科診療所 平町南町六五(舊居) 電話二四三番